

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2016-60729(P2016-60729A)

【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2014-191544(P2014-191544)

【国際特許分類】

C 0 7 C 43/13 (2006.01)

C 0 7 C 41/16 (2006.01)

A 0 1 N 31/14 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 43/13 C S P C

C 0 7 C 41/16

A 0 1 N 31/14

A 0 1 P 3/00

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日(2018.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

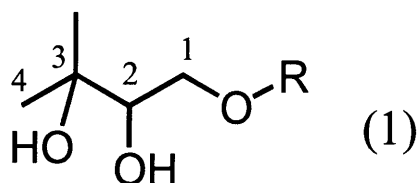
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 (1) :

【化 1】



(式中、R は炭素数 3 ~ 16 のアルカノイル基を表す)
で表されることを特徴とする、メチルブタンジオール。

【請求項 2】

前記一般式 (1) における R が、炭素数 4 ~ 14 である、請求項 1 に記載のメチルブタンジオール。

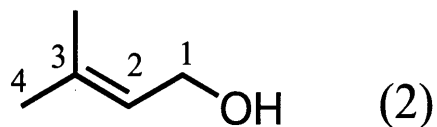
【請求項 3】

前記一般式 (1) において、R が、n - ブチルまたは n - ヘキシル基を表す、請求項 1 または 2 に記載のメチルブタンジオール。

【請求項 4】

以下の式 (2) :

【化 2】



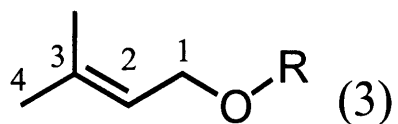
で表される 3 - メチルブト - 2 - エン - 1 - オールに、

R X

(式中、R は、炭素数 3 ~ 16 のアルキルまたはアルカノイル基を表し、X はハロゲン原子または水酸基を表す)

を反応させて、以下の一般式 (3) :

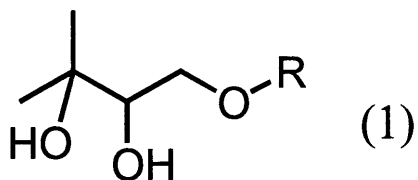
【化 3】



(式中、R は炭素数 3 ~ 16 のアルキルまたはアルカノイル基を表す)

で表される 3 - メチルブト - 2 - エン - 1 - オール誘導体を得、上記一般式 (3) における二重結合を、酸化剤によりさらにジオールに酸化して、以下の一般式 (1) :

【化 4】



(式中、R は炭素数 3 ~ 16 のアルキルまたはアルカノイル基を表す)

で表されるエーテルまたはエステル化合物のジオール体を得ることを特徴とする、メチルブタンジオールの製造方法。